宣言

傭主と被傭者との間が主従関係と名づける封建道徳に依て支配せられて居た時代には被傭者は主人に対して奴隷的の地位に置かれて居た代りに、主人は被傭者の生涯を保障し或程度までは其の事務を保護する道徳上の責任を負うて居た。然るに今日は事情が一変した。傭主と被傭者との関係が自由契約に基く今日は傭主と被傭者たる労働者とは少なくとも外観上だけでは対等の立場に立つ対等の人間である。それと同時に傭主は最早昔のやうに被傭者の生涯を保障しその事務を保護する何等の責任も何等の道徳もない、傭主は只自己の利害の打算に基いて都合次第で何時でも勝手に労働者を解雇して飢餓に放出す自由と権利とを有するばかりでなく現に雇傭して居る労働者の健康を使い尽くしたなら何時でも代りの労働者と取り替へる自